

平成28年度実施施策に係る政策評価書

(内閣府28-53(政策16-施策③))

政策名	経済社会総合研究の推進					
施策名	人材育成、能力開発					
施策の概要	内閣府及び他省庁職員に対して、計量経済分析等の経済理論の講義や分析手法の技能研修等を実施し、経済分析等の専門知識及び手法を習得させる。					
達成すべき目標	政策担当者の企画立案能力や調査分析能力の向上を図り、より効果的・効率的な経済政策等を実施することに寄与する。					
施策の予算額・執行額等	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の 状況 (百万 円)	当初予算(a)	13	13	12	10
		補正予算(b)	0	0	0	
		繰越し等(c)	0	0	0	
		合計(a+b+c)	13	13	12	
執行額(百万円)	9	6	5			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	—					

測定指標	1.研修に対する研修員アンケートの満足度	基準値	実績値					目標値	達成
		20年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	達成
		84.2%	89.0%	92.9%	90.3%	88.2%	87.4%	87%以上	
	年度ごとの目標値	80%以上	80%以上	87%以上	87%以上	87%以上			
	2.分析技能の習得・向上を図る研修での達成度	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	未達成
		26年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	
		9.1点/10点満点			9.1点	9.5点	8.1点	9.1点/10点満点	
	年度ごとの目標			9.1点	9.1点	9.1点			
	3.語学関連研修での向上度	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		26年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	
83.3%				83.3%	83.3%	92.9%	83.3%以上		
年度ごとの目標				83.3%以上	83.3%以上	83.3%以上			

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり			
		(判断根拠)	測定指標2については未達だったものの目標値に近い実績を上げることができ、測定指標1,3については目標を達成したことから、上記判断とした。		
	施策の分析	<p>【平成28年度に実施した具体的施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計量経済分析研修(計量経済分析入門、時系列分析実習、パネル分析実習) 経済社会関連統計研修(季節調整法研修、国民経済計算(93SNA)作成入門、アンケート調査実践セミナー) Excel技能研修(Excel基礎、Excel(マクロ/VBA)初級、Excel(マクロ/VBA)応用、Excel(マクロ/VBA)実践) 語学研修(英文ビジネスライティング研修) 試行的に実施した研修(データサイエンス入門セミナー:近年、経済・社会活動の分析等への活用も期待されるビッグデータ等をテーマに、事例や留意すべき点なども含めた活用の可能性について、有識者による講演会を1回開催) <p>【測定指標の分析】</p> <p>○測定指標1については目標を達成した(なお、測定対象研修全体の参加者は492人)。但し、過去年度より実績値が若干低めとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 27年度まではアンケート中の満足度の設問に「満足」「満足していない」の2択の回答しかなかったところ、28年度からは5段階評価とし、上位2段階(「大変満足」「満足」)を選択したものを満足度として計算することとした。 上記の影響、及びアンケートを実施する最終回への参加者が半数程度しかいなかった研修の満足度が低かった(42.9%)ことが主な要因として考えられる。 <p>○測定指標2については目標未達となった(なお、測定対象研修全体の参加者は317人)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来、研修名を「経済分析等に役立つExcel技能研修」としていたところ、28年度は「Excel技能研修(Excel基礎)」等と変更したため、昨年度までよりもExcelに不慣れな受講者が多かったこと、28年度より新たにマクロ/VBAの研修を加えたため、難易度等手探りな部分が多かったことが主な要因として考えられる。 <p>○測定指標3については目標を達成した(なお、測定対象研修全体の参加者は13人)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度より出席率が高かったことが目標達成に寄与したと考えられる。(27年度:77.9%、28年度:80.5%) 			
次期目標等への反映の方向性	<p>【施策】</p> <p>引き続き来年度以降も、経済分析等の専門知識及び手法を習得させ、研修効果の高い研修を実施できるように工夫し、幅広い要望に対応すべく、包括的・網羅的に研修を提供していく。</p> <p>【測定指標】</p> <p>○測定指標1についてはより満足度の高い研修にすべく、これまでのアンケート結果を受けて研修内容を改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで毎年度目標を達成していたところ、2段階から5段階評価に変更したため、以前よりも高い満足度が得られにくくなったが、一方で受講者の意見がより鮮明に分かるようになった。これらの結果やコメントを参考とし、満足度がやや低い結果となった研修の内容改善に取り組む。 <p>○測定指標2については研修内容をより充実したものにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果より、Excel基礎、Excel(マクロ/VBA)ともに初級クラスの日数が少ないとの意見が多く見られたことから、日数を増やすこととする。特に、Excel(マクロ/VBA)の初級については、理解度を深めるために教材を充実するとともに、応募者が多数であることを考慮し、回数についても増やすこととする。さらに、応用と実践を統合するなど、日数・構成を見直すこととする。 26年度より開始した習熟テストについて、引き続き実施し、客観的に研修効果を測る。 <p>○測定指標3については指標から外れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修所の限られた資源の中で実施する研修としての優先度が低いため、平成29年度においては実施を見合わせることにした。 				
学識経験を有する者の知見の活用	—				
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	—				
担当部局名	経済社会総合研究所	作成責任者名	経済研修所、情報研究 交流部長事務代理 水田豊	政策評価実施時期	平成29年8月